

採用面接官養成研修



研修のねらい

職員採用試験において、人物重視・面接重視の動きが広まり、次代の組織を担う人材を見極め、選定する面接担当者のスキルが求められています。

そこで、心構えや面接試験の際の留意点、効果的な接の技法や進め方などを学び面接担当者のスキルアップを図ることで、面より良い人材の確保を目指します。



受講対象者

県職員：32人

採用面接を担当する予定のある主査級以上の職員
(ただし、採用面接を担当する一般職員も可)



開催日時

7/7(火)

9:00~16:30



備考

この研修は事前課題があります。
詳細は後日送付するシラバスで確認してください。



研修概要

(一社)日本経営協会

講師 猪狩 廣美

- ・採用面接の目的
- ・採用面接で具体的に見極めようとしていること（優れた能力、適性を見極め）
- ・評価の視点（個別評価事項の例、総合評価の進め方、相対評価の進め方）
- ・面接技法と留意点
（アイスブレイク、傾聴技法、コンピテンシー技法、圧迫技法、フォロー）
- ・面接時の留意点
- ・模擬面接演習



こんな人におすすめ

- ・採用面接を担当する予定のある方
- ・より良い人材確保のため、面接スキルを高めたい方



得られるスキル

- ・判断力（能力・適性評価の視点・人材識別力）
- ・コミュニケーション力（傾聴力・質問力・話しやすい雰囲気づくり）



受講者の声

- ・実際の面接試験で活用したい。
- ・模擬面接演習がとても勉強になりました。
- ・実際の面接だけでなく、実績評価などにも生かせる。